

大城永光織物工房



分業体制が確立している南風原町ではめずらしく、染め・織り・洗濯までの一貫した工程をこなしている工房。若い職人たちが注文に応じて手作業で多彩な製品を生産しています。

敷地内に、糸干し場、洗濯場が配置され、適度な光と風が吹き抜ける工房です。

水タンクのある民家



1950年代に建てられた戦後文化を忠実に伝えている民家。県民文化遺産にしたいほど貴重な建築物。セメント瓦屋根にかかる樋は、老朽化したため、プラスチック製に取り替えられたが、家屋も水タンクも建築当時のままです。

琉球楽器の桃原工房



独特の共鳴装置を持つ伝統的盛嶋開鐘型サンシンの胴部分を現代的に改良した手作り生産で、県内サンシン製造者へ供給しています。

盛嶋型は優雅な形状と音色を持ち、多くの琉球音楽愛好家の支持を得ています。

船越家(赤瓦家)



純琉球建築の赤瓦屋根の家。釘は使用しておりません。

発行 / 特定非営利活動法人 南風原平和ガイドの会
住所 / 〒901-1113 沖縄県島尻郡南風原町字喜屋武257
南風原町立 南風原文化センター内
電話 / 098-889-2533
平成23年度沖縄県雇用再生特別事業「シマじまガイド事業」

獅子とヌレ殿内が護る
癒しの里

照屋 を歩く



特定非営利活動法人 南風原平和ガイドの会

照屋の今昔

照屋集落はデームイ毛の南斜面に展開しており、この一帯は、ヌンドゥヌチや旧家等があり、集落の草分けにかかる古い集落である。集落前方の現在の公民館の敷地は、ナガ毛と呼ばれ、かつてはアシビナーでもあり、綱引きや芸能や相撲をしたり、若者たちが力石で力比べ等をした所である。また、各組の製糖工場もあった。主な産業は、農産物であるが、副業として琉球絨(照屋八枚も考案された)の生産をしており、過去においては布団皮の生産も行われていた。また、三線の胴部分作り(盛嶋型)の唯一の産地でもある。

照屋データ

人口	男	724人
	女	733人
	合計	1,457人
世帯数		487世帯
面積		36.3ヘクタール (平成22年1月現在)

照屋MAP



